

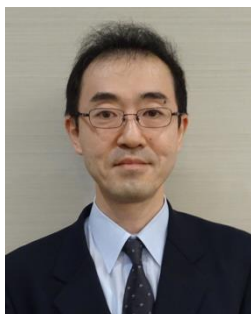
第2回 先進呼吸器外科学セミナー：北信がんプロ FD 講演会 「精密医療」のその先に：がん治療新時代の全人的医療とその課題」

講師：横内 浩 先生（北海道がんセンター呼吸器内科 医長）

日時：2017年11月30（木）18：00～19：30

場所：金沢医科大学病院中央棟3階会議室2

担当：金沢医科大学呼吸器外科学 浦本秀隆教授



【講師紹介】

平成7年北海道大学医学部医学科卒業後、北海道大学医学部附属病院、北海道大学遺伝子病制御研究所、福島県立医科大学などに勤務。平成20年から米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部薬理学講座、平成23年からはMD アンダーソン癌センター呼吸器内科部門に留学。その後、福島県立医科大学呼吸器内科学講座の講師を経て平成29年から現職。

【講演の内容】

遺伝子異常発現解析に基づく個別医療は Precision Medicine（精密医療）と呼ばれ、がん治療新時代の幕開けとなった。しかし、現状において対象患者さんはライフステージ終盤の方も多く、検査施行から治療までの各時相において患者さん、ご家族双方に対する新たなご負担が問題となっている。新時代のがん治療における全人的医療、その課題を観念的にとどめることなく具体的な解決方法の確立に向けて皆さんと議論を深めたいと思われる。

本講演は『「精密医療」のその先に：がん治療新時代の全人的医療とその課題』というタイトルであった。がんゲノム医療の概念、つまり、ゲノムの説明から始まり、次世代シーケンサー、ドライバー遺伝子異常に基づく分子標的治療薬の選択、全人的がん医療、また「精密医療」の検査を実際に受けるときの注意点、検査結果を知ったときの解釈、実際の医療の現場、臨床医としてのゲノム、患者への接し方、クリニカルシーケンスコンソーシアム、網羅的がん遺伝子解析、Actionable 変異、Druggable 変異など、多岐に及び解説した。さらに、その先の展開として、先進医療の可能性、Foundation One の報告、AI の治療方法の決定を紹介した。

本講演は医師（各診療科横断：呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科、臨床病理、遺伝子医療センターなど）にとどまらず、医療スタッフ、医学生、医療秘書等の参加があり、最新の知識や新たな薬剤に関する考え方を share できた。このことは実地医療の outcome として地域のがん患者に大きな恩恵をもたらしたと思われる。さらに、講演の最後の症例（3歳のがん）の紹介では、医療者が逆に患者や家族に（胆力）を試され、正に医療の原点に戻る思索となった。つまり、26人の多くの参加者は十分に魂を揺さぶられ、そして刺激された。セミナー後も多くの質疑応答が活発になされた。今後の臨床および研究の糧となる有意義なセミナーであった。

（金沢医科大学呼吸器外科学 浦本秀隆 記）